

2023.11.15

# 鳥取工業高校で出前講座を開催しました

## 令和5年度 鳥取工業高校 出前講座 実施計画

1. 講座名 インフラの維持管理
2. 目的 橋梁点検の実習を通じて、建設業への関心を高める
3. 日時 令和5年11月15日(水) 10:00～11:30
4. 対象者 鳥取工業高校 建設工学科 3年生 15人
5. 場所 講義 県立鳥取工業高校 教室  
実習 県道卯垣正連寺線 邑法高架橋(おうほう こうかきょう)
6. 主催 鳥取県建設分野担い手確保・育成連携協議会(事務局: 公益財団法人鳥取県建設技術センター)
7. 計画・実施 鳥取県コンクリート診断士会
8. その他 生徒にクラックスケールをプレゼント(鳥取県コンクリート診断士会より)

### 日 程 表

| 実習科目                                                                   | 時間                    | 講師                                  |
|------------------------------------------------------------------------|-----------------------|-------------------------------------|
| ○講義<br>・インフラ維持管理の基礎<br>・橋梁点検実習の説明                                      | 10:00～10:25           | 鳥取県コンクリート診断士会<br>(アサヒコンサルタント株式会社)   |
| (実習現場へバスで移動 : 生徒は作業着とヘルメット着用のこと)                                       |                       |                                     |
| ○体験実習(3班体制)<br>①地上からのコンクリート調査<br>・RCレーダーによる鉄筋探査<br>・クラックスケールによるひび割れ幅測定 | 10:45～11:30<br>(各15分) | ①鳥取県コンクリート診断士会<br>(株式会社アスコ)         |
| ②地上からのコンクリート調査<br>・シュミットハンマーによるコンクリート強度推定<br>・コンクリートの打音調査(不良コンクリート片)   |                       | ②鳥取県コンクリート診断士会<br>(西谷技術コンサルタント株式会社) |
| ③高所作業車によるコンクリート調査<br>・コンクリートの打音調査<br>・鋼橋桁の板厚測定                         |                       | ③鳥取県コンクリート診断士会<br>(株式会社 サンクリエイト)    |
| (学校へバスで移動)                                                             |                       |                                     |

# 実習現場位置図（県道卯垣正連寺線　おうほう 邑法高架橋）



## 実習現場写真



## 実習科目 配置図

側面図



平面図





# 実習状況



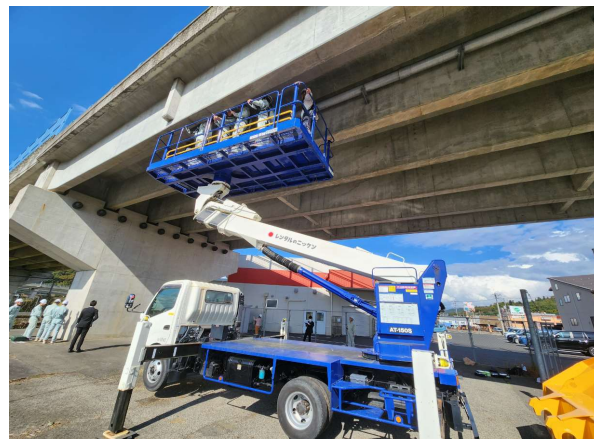
鳥取県立鳥取工業高校 校舎全景



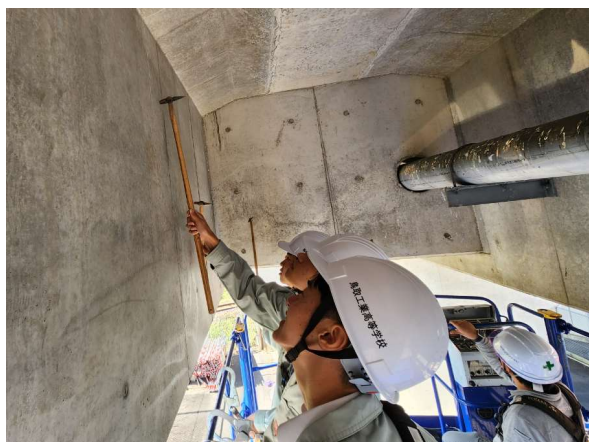
植木講師による講義  
(インフラ維持管理の基礎)



体験実習の講師紹介



高所作業車によるコンクリート調査



高所作業車によるコンクリート調査  
(コンクリート桁の打音調査)



高所作業車によるコンクリート調査  
(超音波厚さ計による鋼版の板厚測定)





コンクリート調査  
(RCLレーダーによる鉄筋探査)



コンクリート調査  
(シュミットハンマーの説明)



コンクリート調査  
(クラックスケールによるひび割れ幅測定)



コンクリート調査  
(空洞のある不良コンクリート塊の打音調査)



生徒代表から講師へお礼のあいさつ



実習後の集合写真



コンクリートのひび割れ幅測定を体験する生徒ら＝15日、鳥取市桜谷の邑法高架橋

## コンクリート調査 工業高生体験

鳥取、プロが現場指導

若い世代の建設業への関心を高めようと、鳥取工業高校(鳥取市生山)で15日、インフラの維持管理やコンクリート調査に関する出前講座が開かれた。生徒たちはコンクリートのひび割れ測定や打音調査を体験し、調査業務の一端に触れた。

将来の建設業を担う人材確保を目的に、官民で組織する県建設分野担い手確保・育成連携協議会が同校と倉吉農、米子工の3校で例年開いている。今回は県コンクリート診断士の会

員が講師を務め、同校の建設工学科都市環境類型の3年生13人が参加した。

生徒たちは、近くの邑法高架橋で体験実習に臨んだ。講師に機器の使い方を教わりながら、橋脚のひび割れ幅や内部の鉄筋の位置を実際に計測。ハンマーの打音でコンクリート内部の鉄筋の腐食やボルトの緩みが判別できることなどを学んだ。

川上恭平さん(17)は「コンクリート内部の鉄筋の位置を知ることができたのが印象に残った。就職してからも測量の現場などで生かしていきたい」と話した。

(清水友揮)

は来年4月以降、早急に事業着手したい考え。長期的な展望として、

## コンクリート診断士会

### 鳥工生を対象に出前講座

#### コンクリート調査を体験

県コンクリート診断士会(田中孝志会長)は15日、邑法高架橋(鳥取市桜谷)の高架下で、県立鳥取工業高校の建設工学科3年生の生徒15人を対象に出前講座を開いた。生徒らはコンクリートの強度を測定するなど橋梁の点検方法を学んだ。

講座は、橋梁点検を通じて建設業界に興味を持ってもらおうと、県建設分野担い手確保・育成連携協議会が主催したもので、診断士会から7人が講師として参加した。

出前講座は座学と屋外実習があり、同校で開いた座学では植木高志副会長が講師となり、インフラ維持管理について説明。コンクリート構造物の劣化メカニズムやひび割れなど橋梁の損傷事例を分かりやすく解説した。

講義の後、生徒らは邑法高架橋に移動。シムットハンマーをコンクリートの壁面に当て、強度を測定したり、RCレーダーによる鉄筋探索を実践するなどコンクリート調査に取り組んだ。

参加した川上恭平さん(17)は「入社してからこういった点検作業があると思うので学んだことを活かしていきたい」と話した。

診断士会は10月末にも県立米子工業高校の生徒を対象に米子市内で出前講座を開いた。

橋梁点検を学んだ出前講座

11/16(木)19時～ 日本海ケーブルネットワーク放送

